

令和 7 (2025) 年度

亜細亜大学大学院
アジア・国際経営戦略研究科
(博士後期課程)

学内推薦試験
入学試験要項

受験を希望する方は、
入試部アドミッションセンター e-mail : gsnyushi@asia-u.ac.jp に
問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

本学が受験生から取得した個人情報は、次のとおり取り扱います。

1. 出願及び入学手続のために取得した住所・氏名・その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続、統計・分析、入学後の教育研究支援及びこれらに付随する事項を行うために利用します。
2. 入学試験の受付及び実施に関わる業務の一部を外部に委託する（以下、「業務委託」）場合があります。
3. 業務委託にあたっては、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。
4. 取得した個人情報は、上記1～3の目的のみに利用し、本学並びに業務委託先がその業務を超えて利用することはありません。

3つのポリシー

●アジア・国際経営戦略研究科

(ディプロマ・ポリシー) 修了認定・学位授与の方針	<p>アジア・国際経営戦略研究科（以下「本研究科」という。）は、本学の課程を修め、必要な条件を充足し、かつ所定の単位数を修得したうえで、学習成果として作成した、博士前期課程にあつては修士論文又は研究報告書、博士後期課程にあつては博士論文の審査に合格した学生のうち、日本及びアジア・中国のビジネス社会に貢献する、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与します。</p> <p>(博士前期課程)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及びアジア・中国で展開されるビジネスを理解するための、経営学及び周辺諸科学の知識・技術を修得し、これを活用した事業活動をリードすることができる。 2. グローバルな視点でアジア諸地域の民族、文化、社会を学び、多様な価値観を認識できる。 3. 日本及びアジア・中国のビジネス社会におけるアジア諸地域の人々の自助協力の促進に貢献する事業活動を展開することができる。 4. 日本とアジア・中国で展開されるビジネス社会における自らの目標を定め、目標の達成に向けたキャリアの形成を生涯にわたって追求できる。 <p>(博士後期課程)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及びアジア・中国で展開されるビジネスを理解するための、経営学及び周辺諸科学の知識・技術を研究し、これを活用した事業活動に関する高度な知識体系を構築できる。 2. グローバルな視点でアジア諸地域の民族、文化、社会を学び、多様な価値観を認識した研究ができる。 3. 日本及びアジア・中国のビジネス社会におけるアジア諸地域の人々の自助協力の促進に貢献する事業活動に関した高度な知識体系を構築できる。 4. 日本とアジア・中国で展開されるビジネス社会における自らの目標を定め、目標の達成に向けたキャリアの形成を生涯にわたって追求できる。
(カリキュラム・ポリシー) 教育課程編成・実施の方針	<p>本研究科は、ディプロマ・ポリシーに挙げた知識・技能・態度を修得させるために、以下のような内容、方法の方針に基づき、教育課程を編成します。</p> <p>(博士前期課程)</p> <p><教育内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジア・中国ビジネスを理解するための知識を、経営学及びその周辺領域の授業科目で学び、研究成果をまとめる機会を提供する。 2. アジア諸地域の民族、文化、社会を学び、多様な価値観を認識し、そこでのビジネスに貢献するため、必要となる言語学習（日本語、中国語）を含む、授業科目を配置する。 3. アジア・中国ビジネスを学ぶ実際の・協働的な科目を配置する。 4. キャリア開発に関する基本的な考え方を理解させ、実践的な能力を身につけるための授業科目を配置する。 5. 研究活動に必要な技能を修得するための授業科目を配置する。 <p><教育方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジア・中国ビジネスに関する学生の主体的な学びを促すように、能動的な学習方法を工夫する。 2. 研究成果をまとめるための演習科目では、学生一人ひとりの研究進捗状況に応じたきめ細かな指導を行うとともに、学生相互の触発を可能にする演習方法を工夫する。 3. 博士前期課程2年次には、アジア・中国ビジネスに関する研究成果に関するフィールドワークを行うため、海外の日本企業を中心とした企業の見学や経営者の考えを聞く機会として現地研修を実施する。 4. 現地研修に合わせた、異なる専門領域の学生で構成される共同研究を行う機会を提供する。 5. 自らのキャリアを体験的に形成することを助けるための教育方法を工夫する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(カリキュラム・ポリシー) 教育課程編成・実施の方針</p>	<p>(博士後期課程) <教育内容> 1. アジア・中国ビジネスを理解するための知識を獲得する機会を提供する。 2. アジア諸地域の民族、文化、社会を体験する機会を提供する。 3. アジア・中国ビジネスを実践的に学ぶ機会を提供する。 4. 博士論文作成に当たっては、複数の教員による多角的な指導を受ける機会を提供する。 <教育方法> 1. 実務家の行う講演などの聴講を通じた実態把握のための指導を行う。 2. 各学生の研究に関連したアジア諸地域をフィールドワークすることを指導する。 3. アジア・中国において展開する企業での実体験を指導する。 4. 主たる指導教員による研究指導に加え、関連分野の教員による指導を行う。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(アドミッション・ポリシー) 入学者受入れの方針</p>	<p>本研究科は、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げる人材を求めます。なお、知識・技能・態度は、筆記試験、面接試験、書類審査を適切に組み合わせることで評価します。</p> <p>(博士前期課程) 1. 本研究科での修学に必要な、日本とアジア・中国の間のビジネス社会を理解するために求められる知識・技能を、大学等の教育課程において修得している。 2. アジア・中国ビジネスに関する問題を自ら認識し、自ら考察し、研究成果を発表できると共に、自ら問題解決に活かしたいという意欲がある。 3. 博士前期課程の修学期間において、アジア・中国ビジネスの実践に関する自らの知識・技能を深め、キャリアを向上させる強い意欲と明確な目的意識を持つ。 4. アジア・中国ビジネスの背景となる社会・文化に強い関心を持ち、それを担う多様な価値観を持つ人々と積極的に協働すると共に、異なる意見を結び付ける革新性を持つ。 5. 本研究科で学ぶ知識・技能・態度・体験を、アジア・中国ビジネスで実践する強い意欲がある。</p> <p>(博士後期課程) 1. 本研究科での修学に必要な、日本とアジア・中国の間のビジネス社会に関する高度な知識体系の構築に関連する知識・技能を、修士学位等の課程で修得している。 2. アジア・中国ビジネスに関する問題を自ら認識し、自ら考察し、研究成果を発表できると共に、当該領域の知識体系の構築に寄与したいという強い意欲がある。 3. 博士後期課程の修学期間において、アジア・中国ビジネスの知識体系構築に関する自らの知識・技能の高度化を目指し、キャリアを切り拓く意欲と確固たる目的意識を持つ。 4. アジア・中国ビジネスの背景となる社会・文化に強い関心を持ち、それを担う人々の多様な価値観に対する深い洞察に基づいて、新たな知識に対する探求心を持つ。 5. 本研究科での研究により獲得する知識・技能・態度・体験を、アジア・中国ビジネスの理解や実践に活かす目標を有する。</p>

学生募集要項

【本試験制度に出願するにあたって】

出願者は、後掲の「研究分野一覧」を参照し、希望する担当教員の e-mail へ連絡し、出願前に研究分野について相談してください。

募集人員

アジア・国際経営戦略研究科 アジア・国際経営戦略専攻 博士後期課程 若干名

出願資格

1. 亜細亜大学大学院アジア・国際戦略研究科博士前期課程在籍者で、令和7年3月修了見込みであること。
2. 出願前に希望する本研究科演習担当者と研究分野について相談していること。

入試日程

出願期間	試験(面接)日	合格発表日	入学手続締切日
令和7(2025)年 1月8日(水)～1月14日(火) 郵送：締切日消印有効 窓口受付：10:00～16:00 ※窓口休止1月12日(日)～13日(月)	2月15日(土) 13:00～	2月21日(金)	3月3日(月)

選抜方法

書類審査及び面接試験

※受け入れ研究分野は、研究計画書及び面接の内容を考慮して合格時に通知します。

出願書類

以下について注意して書類をそろえてください。

- (1) 書類は、黒インクペン又は黒ボールペンを使用し自筆にて記入すること（フリクションインキ等の消せるインクは不可）。「研究計画書」は、Word ファイルに直接入力して作成すること。
- (2) 証明書類は、内容が最新のものを提出すること。特別に指示がない限り、発行日は問わない。
- (3) 証明書類は、特別に指示されていない限り、コピーの提出は認めない。
- (4) 婚姻等で氏名が変更され、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
- (5) 出願後の提出書類の内容の変更は認めない。なお、連絡先（住所・電話番号・e-mail）に変更が生じた場合は、速やかにその旨を入試部アドミッションセンターに連絡すること。
- (6) 受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

①	入学志願票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望研究分野は、後掲「研究分野一覧」を参照して選択すること。 ▶ 出願前相談については、相談した教員名と面談した日を記入すること。 ▶ 学歴欄は、大学入学以降に通学したすべての教育機関（専門学校等含む）を現在に至るまですべて記入すること。 ▶ 職歴欄には、常勤のみを古い順に現在に至るまですべて記入すること。ただし、学生時におけるアルバイトやインターンシップは記入しないこと。 ▶ 学歴・職歴以外欄には、学歴・職歴に該当しない期間がある場合は、その期間と状況について記入すること。例えば、「就職活動」、「進学準備」、「家事専業」など。 ▶ 写真貼付箇所に②写真票に貼付したものと同一写真を貼付すること。
②	写真票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願時点から 3 か月以内に撮影したもので、たて 4cm×よこ 3cm の上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景のない光沢カラー写真。 ▶ 白黒写真、スナップ写真は不可。 ▶ 受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの。
③	修了見込証明書	
④	成績証明書	
⑤	研究計画書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ Word ファイル（A4 サイズ縦、片面 2 枚）に以下の 3 つの内容を MS 明朝体、10.5 ポイントを使用し、1,200 字以上で入力して作成すること。 ①研究目的、②研究内容、③分析方法 ▶ 研究テーマ欄には、今後の研究テーマを記入すること。 ▶ 作成（入力）後は、A4 サイズ縦、片面 2 枚に印刷すること。
⑥	修士論文	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和 7 年 3 月修了のために提出する修士論文と同じものを提出すること。
⑦	修士論文要旨	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和 7 年 3 月修了のために提出する修士論文要旨と同じものを提出すること。
⑧	修士論文以外の研究成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修士論文のほかに発表された研究成果がある場合は、研究計画に最も関係する 1 点について併せて提出することができる。 ▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものは、その内容の要約を日本語訳したもの（10,000 字程度）を添付すること。
⑨	入学検定料 32, 000 円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入学検定料の納入は、出願期間内に必ず行うこと。 ▶ 本学所定の「入学検定料 振込用紙」を使用し、金融機関窓口で振り込むこと。 入学検定料振込の後、金融機関窓口で受け取った「振込金領収書」のコピーを出願書類と共に提出すること。 ▶ ATM 又はインターネットバンキングから振り込むことも可能。入学検定料振込の後、振込控えのコピー又はインターネット振込が確認できる画面のハードコピーを出願書類と共に提出すること。

出願時の注意事項

- (1) 身体の機能障害（拡大鏡、補聴器、車椅子の使用など）の理由により、入学試験当日に配慮を必要とする受験希望者は、出願開始日の1か月前までに入試部アドミッションセンターにお問い合わせください。期間後の申し出については、配慮ができない場合があります。
- (2) 出願後、入試制度・研究科を変更することはできません。
- (3) 出願後、提出書類確認等のため入学志願票に記載された e-mail 又は電話に入試部アドミッションセンターから連絡することがあります。
- (4) 提出された書類に虚偽及び偽造が認められた場合は、受験資格・合格・入学を取り消します。その場合は、入学検定料、学校納入金、出願書類及び入学手続書類等は返還しません。

出願方法

- (1) 市販の角 2 サイズ（A4 サイズの用紙を折らずに封入できるサイズ）の封筒に、「封筒貼付用宛名シート」（所定用紙）を貼付した出願用封筒を作成し、出願書類一式を封入してください。
- (2) 窓口受付の場合は、入試部アドミッションセンター窓口受付期間に提出してください。郵送の場合は、郵便局窓口から「簡易書留速達便」（出願締切日消印有効）で、入試部アドミッションセンター宛に郵送してください。
- (3) 出願書類等に不備があった場合は、出願を受け付けません。また、出願書類が送付されても入学検定料の納入がない場合又は入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合、未着の場合は、出願を受け付けません。

受験票

試験日 3 日前までに届かない場合は、入試部アドミッションセンターにお問い合わせください。

試験当日の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験会場は、受験票及び試験当日の構内掲示にて案内します。
- (3) 集合時刻までに会場に入室し着席してください。
- (4) 集合時刻 20 分を経過した者の受験を認めません。
- (5) 出願時の写真票と同様の容姿（髪型・眼鏡など）で受験してください。
- (6) 試験当日は、学内厚生施設（食堂・コンビニエンスストア等）は営業していません。昼食等は必要に応じて各自持参してください。
- (7) 駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
- (8) 交通機関の乱れが生じている場合について
雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
詳細については、対応が決定次第、本学ホームページ「NEWS」(<https://www.asia-u.ac.jp/now/>)に掲載しますので確認してください。また、入学志願票に記載された e-mail に入試部アドミッションセンター (gsnyushi@asia-u.ac.jp) から連絡する場合があります。
なお、試験開始時刻の繰り下げに伴う受験生の個人的不利益について、本学では何ら責任を負いません。
- (9) 感染症等の対応について
試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため、受験を遠慮願います。この場合も、追試験等の措置や入学検定料の返還は行いません。

不正行為について

受験に際して、以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為となった場合には、当日の入学試験の得点を無効とし、それ以降の受験もできません。この場合も入学検定料の返還は行いません。

- (1) カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (2) 使用を認められていない用具を使用すること。
- (3) 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- (4) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー、イヤホン等を身に付けていたり、かばん等にしまわないこと。
- (5) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴動させるなど、試験の進行に影響を与えること。
- (6) 試験室において、監督者、係員等の指示に従わないこと。
- (7) 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (8) 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (9) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

合格発表

合否結果を以下の方法で発表します。電話等による問い合わせには応じません。

なお、提出書類等に虚偽が認められた場合は、合格後であっても合格を取り消します。

- (1) 本学ホームページ「合格発表」(https://www.asia-u.ac.jp/graduate/admissions/gs_net/result.html)にて発表します。発表期間：合格発表日の11時から入学手続期間最終日の17時まで。
- (2) 合格者には、「合格通知書」及び「入学手続書類」を合格発表日に速達郵便にて発送します。

入学手続

- (1) 入学手続締切日までに入学金及び春学期授業料等学校納入金の納入、入学手続書類の提出を行ってください。
- (2) 学校納入金の分納及び延納には応じません。
- (3) 入学手続き完了後、「入学許可書」を交付します。入学手続期間終了から20日以上経っても「入学許可書」が届かない場合は、入試部アドミッションセンターにお問い合わせください。

研究分野一覧

研究分野	研究できる内容	研究指導教員
戦略・マーケティング	経営戦略、技術経営、イノベーションマネジメント、オープンイノベーション、ものづくり経営、産学連携、アジアビジネス	後藤 康浩 yasug@asia-u.ac.jp
		林 聖子 shayashi@asia-u.ac.jp
会計・ファイナンス	企業ファイナンス、国際金融、為替リスク管理・為替戦略、財務分析、キャッシュフロー分析	赤羽 裕 akabane@asia-u.ac.jp
		三好 出 miyoshi@asia-u.ac.jp
		李 立榮 li_lirong@asia-u.ac.jp

※研究できる内容は、演習名ではありません。出願に際しては2つの研究分野のいずれかを選択してください。

※研究指導教員の詳細は、本学ホームページ (<https://www.asia-u.ac.jp/graduate/aibs/professors.html>) を参照してください。

学校納入金

令和6(2024)年度実績

(単位：円)

		1年次	2年次	3年次
入学金				
授業料	春学期	360,000	360,000	360,000
	秋学期	360,000	360,000	360,000
施設設備料	春学期	100,000	100,000	100,000
	秋学期	100,000	100,000	100,000
学生健康保険組合費		3,500	3,500	3,500
合計	入学時納入金(春学期分含む)	463,500	463,500	463,500
	秋学期分	460,000	460,000	460,000
	年額	923,500	923,500	923,500

【入試出願・入学手続き・入試に関するお問い合わせ先】

亜細亜大学 入試部 アドミッションセンター大学院担当

〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-8

TEL : 0422-36-3273 FAX : 0422-36-1890 e-mail : gsnyushi@asia-u.ac.jp